

学習プログラムを開発しよう

グループ	西部C	メンバー	
------	-----	------	--

参加者を医院の方が
知る事と知らぬ事のバウンス
がなくなるといいかも。

1 学習目的

~~孤立した高齢者が閉じこもりにならないようにする~~
いきいきと地域で生活できる態勢づくり(声かけの充実)

高齢者が
講師はなのほ
とても良い

高齢者向けのエンペラ
ーを自ら作ってみる
という発想が考
えられた。

2 学習目標

- ・エンディングノートの基礎知識を学び自分のこととして考慮する
- ・高齢者が先生となり一緒に郷土料理を作り、地域の若い親と子供達の交流の場とする
- ・共通する趣味を持つ高齢者同志で声かけをする

高齢者が先生
となっている所が
素敵。

3 プログラム名

^{そうめん}
壮年いきいきスクール

壮年というワードを
使うのはとても
良いと思います。

受ける側だけでなく
教える側になる。(高齢
者が)社会に貢献できて
良い。

4 対象・定員

60才以上 20 ~~30~~名

参加者は毎回募集する
のが、まとめてなのか
書いた方がいいのかな...

5 参加費 (受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお、昇山の仮設も明確にする)

1回 ²100円 (料理の時は ^{実費}200円)
_{不足の場合は 不足の分}

いろんなことが学べる
講座で良いと思った。

6 事前に必要な知識や準備物

- ・料理の材料調達
- ・昔遊びの準備
- ・講師の要請
- ・非常食の準備

非常食が必要な
場面とは?

調理器具の準備・
調達(借用)

7 留意点

- ・保険
- ・小児子供が多い場合は託児を考慮しておく

西部C

いろいろとたくさんの方が学べるので楽しそうに思った。

毎回必ず参加せねばというのではなく長期でゆるやかなプログラムなので参加しやすいと思う

毎月コンスタントに開催されるのはとてもよいと思いました。参加者も増えそうです。

習場所 評価 (振り返りの方法)

エンディングノートを書く⇒講座は漸新

エンディングノートへの着目は重要

ディングノート書いてみよう

料理を

講義・演習 60分

料理 120分

第2回は参加者に講師してもらってよいと思います。

外部講師

エンディングノートは一番求められている企画ですね

地域の高齢者

2回世代間交流に親子も呼び出しのタイトルが良かったと思います。いと親子を募集せず。地域の学校、保育園との交流とした方がよかったと思います。

アンケートをとる
講座内容はいかがでしたか?
(満足・やや満足・不満)
講座は理解できましたか?
(よくわかった・少しわかった・わからぬ)
これからも参加しますか?
(参加する・しない・時々参加する)
エンディングノートを書きましたか?
(書けた・少し書けた・書けなかった)

共通

月1回 土曜日
郷土料理交流会
(3名以上の親子を呼ぶ)

料理 60分
昔遊び

3名以上の親子を呼ぶのは郷土料理と一緒に作る? とおとも振る舞う? どちらですか?

地域の中で講師を呼ぶ

どういった料理に
おの具体的には
おこれば「メニュー」しやない

会食を中心とした交流会は楽しそうに希望にのた。

世代間交流か
でさうのがよい。

非常食を作る機会
かよふかよふの
ともいいと思いました

3回 昼食

講義・演習 60分

料理 120分

外部講師

〇〇センター

防災: 今の話題 (非常食)

いどの時の準備をしましたか?
(した・少しした・しなかった)

月1回 第2木曜日
健康講座
健康食
郷土料理を
昼食

講義・体操 60分

料理の回を限定し、
講義は講義のみ
の方がいいのでは?

薬剤師 1回
保健師 1回
管理栄養士

〇〇センター

世代間交流
が 高齢者と子供
のふれあいがよい

振り返りの会(南北)
次にやりたいことはないですか?
友達を誘ってみますか?
など

若人と話できましたか?
(できた・少しできた・できなかった)

月1回 第2木曜日 1回
反省会及び
来年度に向けて
スキルアップ
計画
レシオ本作り

交流会 120分

お弁当(実費で)
食べながら

〇〇センター

レシオの数・種類

1年間通いの
企画は良いと思う
も料理を
もうけたら
ました。

講座の組み合わせが
色々出たのは面白い
けど大変だと思う。

郷土料理が1つの
メイン事項になっているので、
二つおと郷土料理サークル
を併せて活動継続を
視野に入れているのでは?